

3月4日 神奈川県消費者のつどいで出された質問

1. 今回の講演とは直接関係のない質問かもしれませんが、環境ホルモンが脳神経にも影響があると資料にありました。発達障害の原因の一つである可能性はありますか？

(高田先生回答)

一般的な話として、原因の一つであると思います。しかし、個別の事例について原因として特定された例はないと思います。

2. 焼却の段階で CO2 排出を計算するため、排熱を利用した発電は CO2 排出ゼロの電源として期待されています、現在、プラスチックごみの半分以上が熱回収に利用されているのですが、そのうち発電に使用されている割合をご存知でしたらお教えてください。

(高田先生回答)

数値は把握しておりません。

3. プラスチック利用の製品を大量に生産する企業に、焼却費用の負担をさせようという動きはあるのでしょうか？

(高田先生回答)

容器包装の3Rを進める全国ネットワークなどのNGOは拡大生産者責任を企業に負わせるような法律(容器包装リサイクル法)改正を求めています。

4. 人だけでなく、犬や猫などペットへの影響はどのようなことが考えられるのでしょうか？

(高田先生回答)

犬や猫も内分泌系がありますから、環境ホルモンの影響はあると思います。

5. 3.4年前まではマイクロプラスチックによる人体への影響はまだわからないとされていたと記憶していますが、現在では人体への影響はある、考えてよいのでしょうか。またそれは、研究が進み明らかになったということなのか、マイクロプラスチックの流出・蓄積により影響が出るレベルまでになったということなのでしょうか。

(高田先生回答)

ポリマーそのものによる影響はまだわからないという段階だと思います。添加剤については、私は影響があると考えています。研究の進展により明らかになったことだと理解していません。

6. あまりにも全ての商品がプラスチックで包装されていて、自分で意識して減らせる部分がとても限定的なように感じてしまいます。ペットボトルを使わない等の努力で何パーセントくらいのプラスチックの使用を減らせるのでしょうか。

(高田先生回答)

個人の努力にも様々なレベルがあるので一概に答えられません。計り売り等の利用によって、かなり半分以上減らせるのではないのでしょうか？

7. ティーバックからもマイクロプラスチックが発生しますか？

(高田先生回答)

素材によっては発生します。予防的には金属製の茶こしでお茶を入れる方がよいと思います。

8. 農工大で乳酸菌の研究をされている先生がいらっしゃいますね。培養する容器の材質で乳酸菌や麹菌などの働きが変わるのかなど高田先生とのコラボは可能ですか。

(高田先生回答)

可能だと思いますが、他にやるべき研究が多いので特にコラボはしていません。

ユーコープへの質問内容

「ユーコープさんに質問です。店舗に入ると、香り付きの柔軟剤が売られていますが、マイクロプラスチックを使用した製品の販売を取りやめる予定はありますか？」

消費者のつどい質問に対する回答

いつもユーコープをご利用いただき誠にありがとうございます。

現在、メーカー品の洗剤や柔軟剤の一部には、香りを楽しみたい、汗をかいた時などの気になるニオイを抑えたいなどのご要望にお応えするため、衣料用洗剤や柔軟剤の一部製品で用いられており、香り成分をマイクロカプセル（プラスチック）に封じ込める商品が発売されています。

CO・OP 商品に関しては、香料を包むマイクロカプセルを使用した商品は発売していません。

なおこのことに関する日本生協連の見解や基準はありませんが、新たに商品を開発する予定もないとされています。

マイクロカプセルを使用したメーカー品の供給に関しましては、今のところすぐに販売を取りやめる方針はございません。環境省や各社メーカーとも科学的な知見がないとの見解ですが、ユーコープとしては、引き続き状況を注視していく姿勢です。また、今後の社会情勢や日本生協連のリスク評価、リスク管理政策を基にして、総合的に判断したいと考えております。これからも組合員さんに安心を感じていただけるコミュニケーションづくりに取り組んでまいりますので何卒よろしくお願い致します。

(生活協同組合ユーコープ)